

令和6年度 一般会計・特別会計決算の状況

[単位：円]

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	19,262,275,078	18,623,898,945	638,376,133
特別会計	8,269,956,928	7,907,868,285	362,088,643
国民健康保険	3,571,634,817	3,507,172,100	64,462,717
介護保険	4,161,908,299	3,892,866,315	269,041,984
後期高齢者医療	536,413,812	507,829,870	28,583,942
合計	27,532,232,006	26,531,767,230	1,000,464,776

令和6年度 地方公営企業会計決算の状況

〔水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	930,303,946	793,823,797
資本的収支	326,320,964	548,100,928

〔下水道事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	1,059,713,412	984,705,026
資本的収支	536,311,520	804,403,342

〔病院事業〕

(消費税及び地方消費税を含む) [単位：円]

項目	収入	支出
収益的収支	727,365,837	732,516,794
資本的収支	500,711,000	768,312,256

民生費

◎生活保護事業

して白石とのつながりを保ち続ける工夫をし、令和6年度は2名の移住フェア参加者が本市への移住につながった実績がある。

〔質疑〕今後、定住促進事業にどのような取り組みでいくのか。

〔答弁〕定住者補助金申請者向けのアンケートにおける「定住先として白石市を選んだ理由は何か」の設問において「土地、家屋で手ごろな物件があった」という回答が多くなった。このような定住者のニーズを踏まえた取り組みを展開するため、家屋敷課税対象者の一部に空き家バンクの周知をすることを新たな取り組みとして検討している。

〔質疑〕生活保護世帯と生活困窮者、それぞれに対する年間訪問回数は。

〔答弁〕令和6年度の訪問件数は、生活保護世帯については延べ846件、生活困窮者については延べ55件となっている。

衛生費

◎各種健診事業

〔質疑〕事業の成果として「健康の保持増進が図られた」としているが、どのようなデータや指標により確認しているのか。

〔答弁〕がん検診を始め、各種検診事業については、過去の受診率や精密検査受診率などを指標としている。対象者数から見た受診率は30%前後と多くはないが、検診の申し込みをした方が受診した割合は、半数を上回っている状況である。

〔質疑〕本市における当該事業に関わるケースワーカーと相談支援員の人数は。

〔答弁〕ケースワーカーは3人、相談支援員および就労支援員が各1人の体制となっている。

農林水産業費

◎農産物等販売施設運営事業

〔質疑〕消費生活相談の相談内容は、被害発生前や被害発生後の相談と思われるが、どのような状況になっているのか。

〔答弁〕消費生活相談は被害

商工費

◎消費者行政事業

〔質疑〕市が実施する農産物等の販路拡大事業が、生産者の所得向上にどの程度寄与し、手数料や集客面など具体的なメリットがあるのか。

〔答弁〕おもしろいし市場は平成31年4月にオープンした施設で、順調に売上が増加し、令和6年度の農産物の売上は約9700万円となった。出荷先をどこにするかの判断は生産者自身となり、施設整備により生産者の所得向上に寄与しているものと考えている。

また生産者の維持・拡大やさらなる生産者の所得向上については、指定管理者自身が青果市場や他の類似施設の動向などを踏まえて取り組んでいるものと認識している。